



kura-cafe

「全国の小さなまち・むらのファンづくりを応援する」
アンテナショップ kura-cafe

出店のご案内

農家の〇〇さんに
会いたいから
交流会に
参加するわ



毎年ツアーに
参加して
訪問しています



まちの米が
おいしいから
ご近所にも
紹介したわ



いつもまちの
フェイスブックを
みています!



まちの
CM コンテストに
応募しました!



アンテナショップ kura-cafe(クラカフェ)のミッション

1

全国の小さなまちやむらのファンをつくります。

ファンとはそのまちにゆかりはなくてもあなたのまちを理解し関心を持ち応援しつづける人たちのこと。
kura-cafeは横浜で全国の小さなまち・むらのファンをつくり、あなたのまちのまちづくりを応援します。

小さなまち
むらにこだわる
理由

アンテナショップ kura-cafe が
お付き合いするのは
人口3万人以下の市町村です。

ファンをつくるには、
顔の見える関係性を築ける
規模であることが重要だからです。

顔の見える関係性を築くには
人口は3万人を超えない程度が
適当と考えています。

〇〇さんのいる町だから、
親戚のいるまちのように
親しく思いたす。

ファンみなさん



顔の見える
相互のやりとり

役場

農家



住民

生産者

人の魅力があなたのまちを「新しいふるさと」と思うファンを増やします。

アンテナショップ kura-cafe の歩み

2013年8月。横浜市鶴見区の友好都市、福島県棚倉町から風評被害払拭のためPR拠点をつくりたいと相談を受け株式会社イータウンによる「横浜発ふるさと応援プロジェクト アンテナショップ kura-cafe」が始まりました。店名は全国のおいしいものが集まる蔵(くら)の交流拠点(カフェ)という意味を込めています。

2013年10月に本格オープンして以来、福島県棚倉町・西会津町を主なパートナーに多様な取り組みをとおして小さなまちのファンづくりをしています。

また、kura-cafeは「地方のまち・むらとの交流から生まれた広場」として、地元鶴見でのまちの人同士の交流や商店街の活性化にも取り組んでいます。

2

作り手を紹介し地方の生産者と都市の消費者をつなぐ。

食べ物の作り手と食べ手の間に
顔の見える関係をつくります。

- 作り手（生産者）の紹介に力を入れています。
- 地域の特産品一つ一つに物語があります。
- 特産品に込められた作り手の思いや努力に共感し、ファンに伝えます。
- 生産者との丁寧な交流によって、安心して紹介できる信頼関係をつくります。
- 信頼に基づく作り手とのやり取りをとおして、安心な情報を正確に買い手に提供し交流を育みます。



ものの交流から
人の交流を生み出す

浅

ファンとあなたのまちとの出会い

深

特産品を
買う作り手や
産地を
知る交流会に
参加する現地の
ツアーに
参加する個人的に
旅行する長期滞在
移住

複数のステップでまちのファンを作ります。





「試食提供」

試食を提供して味のご紹介や
食べ方のご紹介をしています。



「カフェ」

カフェコーナーでは特産品を使った
ドリンクメニューをご提供します。



ファンづくり の戦略

さまざまな切り口で、
小さなまちの大きな魅力を
ファンが心を込めて
お客様に伝えます

交わる



「ナイト企画」

まちの食材をつかった料理と酒を用意。あなたのまちの生産者や
住民の方とファンとの交流会を行います。

「現地ツアー」

バスであなたのまちに訪問するツアーを
企画運営しています。





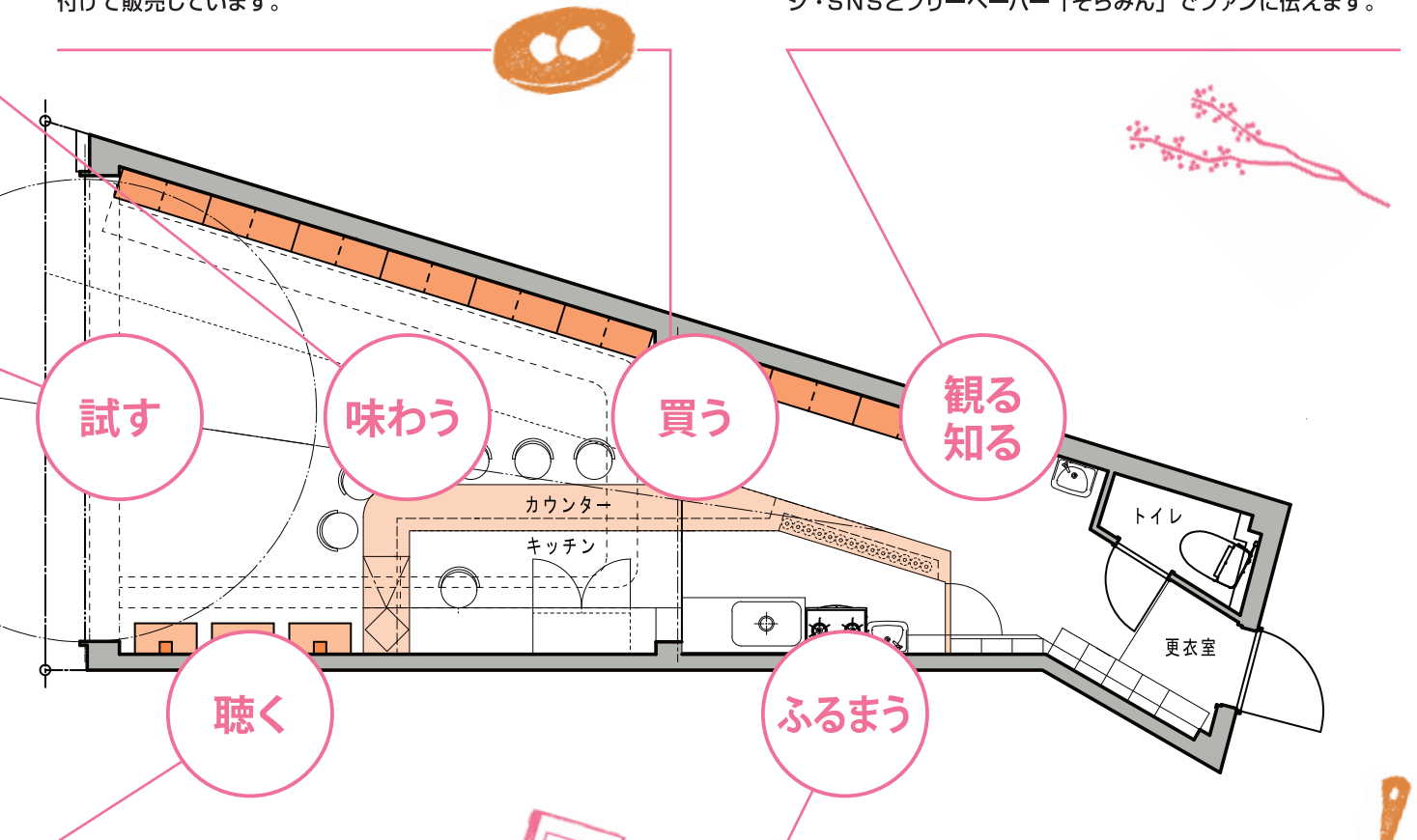
「特産品販売」

特産品には生産者の思いを伝える手書きのPOPを付けて販売しています。



「まちのPR」

まちの特産品、作り手、住む人、名所、行事などを取材、ホームページ・SNSとフリーペーパー「そらみん」でファンに伝えます。



「モニタリング」

消費者の生の声を集めデータ化。特産品の改良をご提案します。



「試食会」

キッチンを地元のお母さんにお任せして、郷土料理をふるまっていたりすることもあります。



株式会社イータウンの取組

～多様なきらめきをみつけてつなげる まちのコーディネーター～

kura-cafe は、まちづくりのプロフェッショナルとして横浜で実績を積んできた株式会社イータウンが運営しています。自治会、町内会、NPO、事業者・生産者、行政、学校、市民、…様々な立場の人の多様なつながりでまちを活性化します。

私たちのやりかた

① 「点を見つけた・点とつながる」



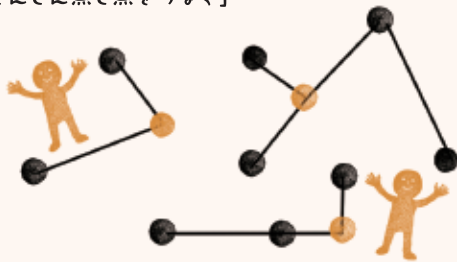
まちの資源となる人・もの・コトを見つけたし、それぞれの相手の立場にたち共感することから始まります。

② 「点と点をつなぐ」



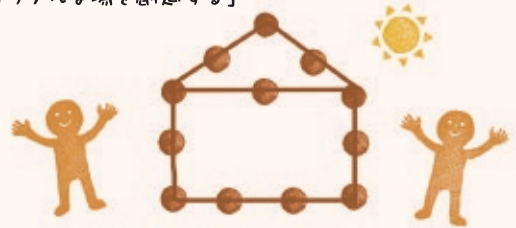
見つけた資源をつなぐ橋渡しをします。

③ 「どんどん点と点をつなぐ」



まちの資源を顕在化。それらがつながるきっかけを作りつづけます。

④ 「リアルな場を創造する」



持続可能な出会いと変化をまちに生み出すためには、具体的な場をもつことは効果的です。人材の育成や仕組みづくりで場づくりを支えます。

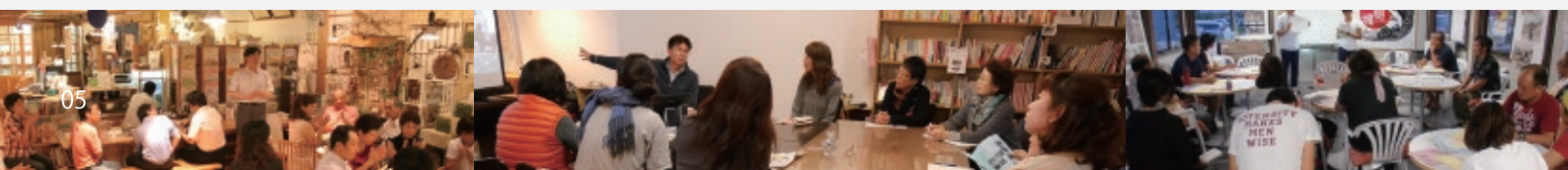
取組



歩み

- 2000 代表斉藤保が地域のつながりの希薄さを解決するため、かみおおおか e-town 開設
地域情報を WEB で発信開始
- 2004 株式会社イータウン創立
- 2005 港南台タウンカフェを開設
商店会・地元 NPO・株式会社イータウンの 3 者で運営。
小箱ショップ、カフェ、教室などを行うコミュニティカフェの
先駆的存在として全国から視察をうけるようになる。
- 2007 コミュニティカフェノウハウ移転事業（経済産業省）
各地のコミュニティカフェの人材育成プログラム実施。

- 2008 ソーシャルビジネス支援事業（横浜市経済局）
現場視察会の企画運営やソーシャルビジネスの個別相談を行う。
- 2009 横浜・ひと・まち・デザイン賞受賞
ソーシャルビジネス 55 選に認定
- 2010 まちづくり月間国土交通大臣表彰
- 2011 横浜市長表彰
東日本大震災被災地支援 SB ノウハウ移転事業（復興庁・経産省）
- 2013 アンテナショップ kura-cafe オープン
- 2014 総務省地域力創造アドバイザーに認定



ファンの方をご紹介します

～ kura-cafe で新しいふるさとに出会った人たち～

金井澄夫さん

2 年ほど前、いつも買い物している商店街で工事が始まり、「横浜発!ふるさと応援ショップ」のポスターが目に入りました。オープンして買い物に行くと、いろんな珍しい商品が並んでいました。そして顔なじみになると、味はどうでしたか?どんな商品がほしいですか?と、いろいろ聞かれるのです。それが面白くて、だんだんおしゃべりするようになりました。最初に参加したイベントは、ナイトです。生産者さんと酒を酌み交わし、大変な盛り上がり。こんな店は初めてで、楽しかった。今もほぼ毎回参加しています。体験ツアーにも参加。棚倉町に 2 回、西会津町に 1 回行きました。私は農家の出身で、数十年ぶりかで田植えや稲刈りをして懐かしかったです。

今年 4 月から週 3 日、2 時間ほど kura-cafe でボランティアをしています。商品に値札を付けたり、棚の掃除をしたりします。kura-cafe に出会い、楽しく手伝いまでできるようになるなんて思ってもみませんでした。今でも、オープンの時にもらったチラシを自宅の冷蔵庫に貼って大切にしています。



西会津町雪国ツアーにて

福徳未来さん

2014 年 2 月の福島県西会津町の雪国ツアーに家族で参加しました。観光地を巡るツアーとは違ってそのままの自然と暮らしが感じられるツアーでした。夫はツアー参加後に、仕事ができるなら地方で暮らしてみたいと言った程でした。郷土料理を囲んでの交流会では地元の人たちが土地の味を嬉しそうに自慢する姿に感動しました。

今、西会津町の動きはフェイスブックでみています。若い人たちがまちづくりを頑張っているのはかっこいいです。過疎の課題があるなかで若者が集まってまちを考えている姿は魅力的です。自分の住んでいる鶴見では、なかなかないことです。

西会津町にはその後個人的にも行きました。雪の時期だけではなく、四季折々の自然と暮らしをみてみたいと思ったからです。町で親切にもらって大満足でした。

kura-cafe に出会ってからストーリーのあるものを選びたいという思いが強くなりました。作っている地域や作り手の顔がわかると安心します。作り手の人柄は商品の味にもあらわれているような気がします。

比嘉久人ダビドリアオさん

kura-cafe は「間（あいだ）がある場所」だと思っています。スーパーにいけば食材はすぐに手に入りレジで支払ったら終わりです。けれども kura-cafe では生産者が込めた思いや食材が生まれた地域や自然について気づくことができます。効率重視のやりとりではなく、ひととの間にあたたかさ、人間性があります。

西会津町を今年 6 月に訪問しました。ゆったりと過ごす時間が心地よく、まちの美味しいものや素晴らしい風景を共有できました。つながりのある場所が増えてうれしく思っています。

私は映像作家として横浜を拠点に活動しています。自然の中の暮らしにも興味があるので都会にいながら地方に関わりつづける方法を探しています。kura-cafe で、福島や地方のまちに関わって動いている人たちと知り合うことができ、刺激を受けています。彼らと一緒に、これからの時代の新しい豊かさについて考えていきたいです。



福島ナイトにて

あなたのまちも 参加しませんか



特産品販売

まちの生産者・事業者の産品を kura-cafe で販売します。



取扱可能商品数

- 1自治体につき 50 アイテムまで取り扱い可能。あなたのまちのアンテナショップに。

手書き POP で商品を紹介

- 店内 POP で商品の特徴やこだわりを伝えます。

情報発信

- 人気商品は月1回程度ブログや SNS で広報、さらなる認知度を高めます。

販売できるもの	主に常温保存できるもの、生鮮品可、冷蔵品可。冷凍品は扱いできません。
販売方法	原則、まちの生産者・事業者の産品をご紹介いただき、直接生産者とやりとりを行い、買い取りにて販売します。
支払	月末締め翌月払い
陳列のイメージ	三角形の棚に商品が並びます。手書きの POP をつけて商品説明をします。
販売場所	売れ筋商品は姉妹店「港南台タウンカフェ」でも販売
その他	売れ筋商品についてインターネット通販 2015 年 12 月開始予定。売れ筋商品は飲食店にご紹介（実績：棚倉町コシヒカリなど）店内チラシラックにチラシを配架可能。
費用	42,000 円（月額）

【実績】

- 現在の取り扱いアイテム数：約 160 アイテム
- 取り扱い地域：福島県棚倉町・西会津町等
- 売れ筋商品（2015 年 7 月現在）：
 - No.1 棚倉町えごまドレッシング 91 個
 - No.2 棚倉町コシヒカリ 5 キロ 34 個
- 客単価：平均 1,000 円
- 平均来客数：50 名 / 日



現地ツアー

あなたのまちにファンをお連れする現地ツアーを企画・運営します。



満足度 99.9%

- アンケートでほぼ全員が「満足」「やや満足」と回答

感想例

- 地元の方の温かなおもてなしに感動した。● 町のみなさんに盛大に迎えていただき親戚の町にいったようだった。
- 1泊2日に盛りだくさんの内容だった。また行きたい。● 稲刈りをしてみて、農家の方の大変さがわかった。

80% が初めての訪問

- 参加者の80%がkura-cafeの現地ツアーで初めてまちを訪問しています。

企画から承ります

- プログラムの企画から承ります。現地の方との各種調整も行います。

添乗スタッフ	全行程を弊社スタッフが添乗してあなたのまちをご案内。
旅行会社と連携	運営について旅行会社と連携して実施。
広報	チラシをデザインし印刷・配布。店頭及びフェイスブックやブログでの広報を実施。
受付	店頭でツアーの参加受付をします。
参加者の属性	横浜市在住の30～70代の男女が主。
報告書	ツアー実施2か月以内に、参加者アンケートを集計し弊社で考察を加えた報告書を出店者様にご提出します。
費用	70万円～100万円（企画から運営まで一環して行った場合）すでにツアーが実施されている場合、広報・受付・添乗のみのご依頼も可能です。

【実績】 現地ツアー

2013年10月	福島県棚倉町（以下棚倉町）でワークショップ開催（参加10名） 福島県（以下西会津町）でワークショップ開催（参加21名）
2014年2月	西会津町 雪国体験ツアー（参加20名）
8月	棚倉町 ブルーベリー＆じゃがいも収穫祭の旅（参加者13名）
10月	棚倉町 稲刈り体験と自然＆歴史満喫の旅（参加者15名）
2015年2月	西会津町 雪国体験ツアー（参加20名）
8月	棚倉町 ブルーベリー狩り＆農家で過ごす休日（参加25名） 他



交流会

夜、地元の食材を調理し地酒を囲みながら行う交流会。「〇〇ナイト」と呼び、恒例の人気イベントになっています。



ファンづくりの近道

- 美味しい地元のお料理は人を惹きつけ、楽しい雰囲気の中でまちへの興味をかきたてます。

若い世代の参加

- 地方への関心意識の高い若年層（20代～30代）にアクセスできます。

調理は kura-cafe スタッフにお任せ

- メニュー作りや当日の調理はスタッフにお任せください。ご相談の上、郷土料理や地元の食材を使った料理をご用意します。

スタッフ	交流会の司会やキッチンでの調理、配膳等は kura-cafe スタッフが担当。
内容	まちの紹介スライドショー、クイズの実施、生産者の紹介・座談会、料理を食べながらの交流会など2時間程度で実施。
出店者様に お願いすること	地元の食材をご紹介ください。また交流会に2～3名程度で参加ください。（生産者、住民、行政職員など）
参加費	交流会参加者から2,000円以下の参加費を徴収しています。
開催日	平日もしくは土曜日の夜18時頃から開催。（応相談）
費用	25,000円（1回）

【実績】 交流会「ナイト企画」

2014年 8月	西会津ナイト ～感じてくなんしょ西会津～（参加33名）
9月	福島ナイト ～福島出身タレント「なすび」さんを迎えて～（参加18名）
2015年 2月	西会津ナイト ～冬野菜と2人の美女を囲んで農業を語る甘い夜～（参加25名）
	棚倉ナイト ～農家さんの手作り田舎料理で乾杯～（参加27名）
3月	東北ふるさとづくりナイト ～東北ふるさとづくりパートナーズを迎えて～（参加18名）
7月	棚倉ナイト ～福島県棚倉町の生産者さんと夏野菜を囲んで～（参加22名）
8月	西会津ナイト ～日本一に輝いたきのご農家さんを迎えて～（参加33名） 他



モニタリング

新商品や開発中の商品について消費者の意見を集め生産者や自治体にお伝えすることで商品開発に役立てます。

モニタリング試食会

- kura-cafe に 8 名程度のモニターをあつめ、約 10 商品の試食会を開催。
- 商品パッケージ、味、量、価格などについて意見を記述式アンケートにて収集。
- 出店者様にアンケート結果をお返しします。

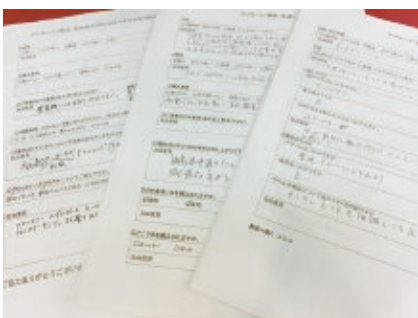
在宅モニタリング

- 3～4 商品を、10 名のモニターが自宅で 2 週間試供したのち、各商品につき A4 用紙 2 枚程度の記述式アンケートにて回答。
- 商品パッケージ、味、量、価格などについて意見を収集。その後、アンケートをお返しします。

費用	48,000 円 (1 回)
----	----------------

【実績】

2014 年 11 月	モニタリング試食会 (参加 8 名)
2015 年 2 月	モニタリング試食会 (参加 8 名)
8 月	栗城ドリームファーム 在宅モニタリング (参加 10 名)



まちの情報発信

特産品、名所、まちの有名人…。地元の当たり前も実はあなたのまちの魅力。さまざまな角度からその魅力を伝えます。

フリーペーパー「そらみん」の発行

- kura-cafe オリジナルのフリーペーパーを年 2 回発行しています。
- そらみんにあなたのまち独自のページを作成できます。

内容	生産者の取材、住民の方への取材、まちのイベントレポートなどを紙面に掲載。(例：若手農家取材、地元の酒蔵の商品紹介、現地ツアーレポート)
仕様	A5サイズ・20 ページ
取材・編集	弊社スタッフ・ボランティアが行います。
デザイン	プロが見やすく紙面をデザインします。
配架先	公共施設や飲食店など横浜市内・東京都内約 50 か所
発行部数	5,000 部
費用	1 ページ 35,000 円

【実績】

2013 年 12 月	kura-cafe マガジン創刊
2014 年 7 月	kura-cafe マガジン第 3 号を「そらみん」としてリニューアル発行 以降年 2 回発行

ブログ・フェイスブックでの情報発信

- きめ細かな聞き取りをしながらブログやフェイスブックで、まちの最新情報をPRします。

内容	生産者取材、商品紹介、イベントレポート、現地のイベント情報など
更新頻度	ブログ・月 4 回、フェイスブック・月 10 回
アクセス数	HP・3500 ビュー / 月平均
URL	ウェブサイト： http://kura-cafe.sakura.ne.jp/ フェイスブック： http://www.facebook.com/kuracafe2014



アンテナショップ


kura-cafe

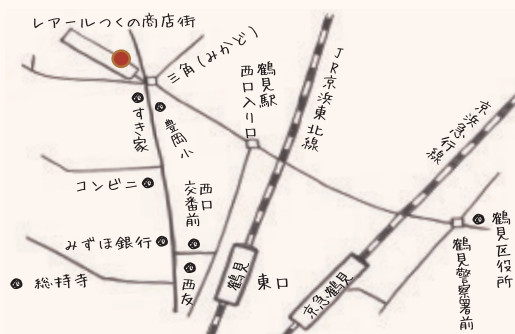
OPEN : 10:00~18:00 (日・月・祝・第1火曜定休)

神奈川県横浜市鶴見区佃野町 25-2
(JR 鶴見駅西口より徒歩約 10分)

TEL & FAX : 045-574-3317

HP : <http://kura-cafe.sakura.ne.jp/>

・東京駅から鶴見駅までのアクセス JR 京浜東北線で 30 分



株式会社イータウン 〒234-0054 横浜市港南区港南台 4-17-22 キタミビル 2F 港南台タウンカフェ内
TEL : 045-520-8550 FAX : 045-832-3864